

## 外交史料館ニュース

## 一、外交記録公開

「公文書等の管理に関する法律」(平成二十二年法律第六十六号)及び「外交記録公開に関する規則」(平成二十二年外務省訓令第七号)等に基づき、二〇二五(令和七)年内に以下のとおり外交記録(計一一九二冊)を外交史料館に移管し、目録に掲載した(ファイル等の概要情報は外交史料館ホームページにて閲覧可能である)。

一月三二日	一六七冊
三月三二日	一六二冊
五月三〇日	一三四冊
七月三二日	一八七冊
九月三〇日	二〇八冊
十一月二八日	二一七冊
十二月二四日	一七冊 ※

※のファイルは特別審査対象ファイルであり、即時閲覧可能な状態で公開された。その中には一九九四(平成六)年の外交案件、具体的には羽田外務大臣中国訪問、日米首脳会談(細川総理・クリントン大統領)、細川総理中国訪問、ルワンダ難民救援、柿澤外務大臣中近東諸国訪問、サミット第二〇回ナポリ会議、第一回ASEAN地域フォーラム(ARF)、日米包括経済協議に関するファイルが含ま

れる。これらの全文書の画像は外交史料館ホームページで閲覧可能である。

## 二、所蔵記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の実施

戦後七〇年を契機として内閣総理大臣の下に設置された「二〇世紀を振り返り二一世紀の秩序と日本の役割を構想するための有識者懇談会」は、報告書において、我が国が取るべき具体的施策として「アジア歴史資料センターの充実」を指摘した。これを受けて当館では、同センターへの史料画像提供及び所蔵記録の保存などを目的として、二〇一六年度から戦後外交記録のマイクロフィルム化及びデジタル化作業に順次着手している。二〇二四年度においては、同センターに三一九冊分(七一、七五七コマ)の画像を提供した。

## 三、展示

二〇二五年内における当館展示室での展示実施状況は次のとおり。まず、二〇二四年に日・ブルガリア交流開始一一五周年、外交関係樹立八五周年、外交関係再開六五周年を迎えたことを記念して、二〇二五年三月六日から三月二九日まで在京ブルガリア大使館との共催で「日本とブルガリア 交流の歴史」展を実施した。

次に、当館展示室の麻布台ヒルズ森JPタワー五階へのリニューアルオープン一周年を記念し、四月八日から五月三十一日まで「貴重史料から浮かび上がる吉田茂像」を実施した。詳細は本誌特別展示記事を

参照ありたい。

さらに、二〇二五年に日韓国交正常化六〇周年を迎えたことを記念し、六月二〇日から八月三〇日まで特別展示「日韓国交正常化六〇周年」を実施した。期間中の七月二十八日には、岩屋毅外務大臣が展示を見学した。

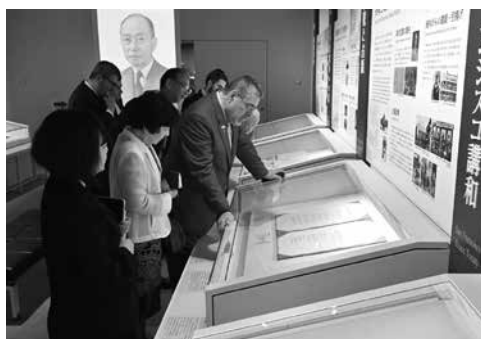
また、一月三十一日から戦後・国連創設八〇年特別展示「平和国家としての歩み」を実施した（二〇二六年一月三十一日まで）。詳細は本誌特別展示記事を参照ありたい。

館外展示としては、二〇二五年七月二十六日から九月十五日まで大分県立先哲史料館で開催された企画展示「先哲・重光葵く平和を希求した男の生き様」に対して特別協力を行った。詳細は本誌活動報告記事を参照ありたい。類縁機関の連携展示にも引き続き尽力したいと考えている。

なお、二〇二五年内の展示の総見学者数は二一九七七人であった。今後ともさらに多くの皆様にご来場いただけるよう、環境整備に努める所存である。

#### 四、グアテマラ共和国大統領の外交史料館訪問

二〇二五年六月一日、二〇二五年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のナショナル・デー行事参加のため訪日中のセサル・アレバロ（Dr. César Bernardo Arévalo de León）グアテマラ共和国大統領及びカルロス・マルティネス（Carlos Ramiro Martínez）グアテマラ共和国外



常設展示を見学するアレバロ大統領

務大臣が外交史料館展示室を訪問し、一八八〇（明治二三）年のグアテマラ大統領発明治天皇宛親書、一九三五（昭和一〇）年のグアテマラ大統領発昭和天皇宛親書等、同国に関連する史料を閲覧し、常設展示を見学した。

#### 五、リトアニア国立公文書館長官の外交史料館訪問

二〇二五年六月一日、インガ・ザクシャウスキエネ（Inga Zakšauskienė）リトアニア国立公文書館長官が外交史料館を訪問し、一九二二（大正一一）年のリトアニア国家承認の閣議決定、一九三一年の日・リトアニア通商航海条約（リトアニア側批准書）等の同国に関連する史料を閲覧した。

#### 六、在日米軍副司令官の外交史料館訪問

二〇二五年八月二十八日、ケルビン・W・ゴルマン（Kelvin W. Gallman）在日米軍副司令官他関係者が外交史料館を訪問し、新旧日米安全保障

条約の署名本書等、戦後の日米両国の歩みに関わる史料を閲覧したほか、常設展示を見学した。

#### 七、外交史料館展示室における子供向けイベントの実施

外交史料館展示室では、修学旅行生や社会科見学等、小中高生団体での見学受入れを行っているが、その他に以下の子供向けイベントについて実施・受入れを行った。

##### （一）ヒルズ・ワークショップフォー・キッズ二〇二五

森ビル株式会社が運営する各種施設で実施された子供向けワークショップ「ヒルズ・ワークショップフォー・キッズ二〇二五」において、七月三十一日に「日本の外交史を追体験して外交官の仕事に触れてみよう！」を開催し、子供二名（同行者一五名）が参加した。

##### （二）こども霞が関見学デー

広く社会を知るきっかけとなるため、霞が関の府省庁等が連携して行なっている「こども霞が関見学デー」において、八月六日、七日の両日に「麻布台ヒルズの外交史料館展示室で、きみも歴史博士になろう！」を開催し、子供二六名（同行者二五名）が参加した。

なお、修学旅行生や社会科見学等として個別に受入れた小中高生の団体見学としては、二〇二五年中に一三件、二六八名を受入れた。

#### 八、展示室見学記念スタンプ及びスタンプ帳の作成

他のミュージアムの事例を参照し、外交史料館展示室を見学した際

の記念として持ち帰れるよう、記念スタンプ及び記念スタンプ帳を作成した。スタンプ帳はパスポートを模した外観となっており、陸奥宗光、小村寿太郎、重光葵、吉田茂の歴代外務大臣の肖像イラストのスタンプを押すことができる。本年一月より提供を開始している。